

# 「旅」上質主義 ワールド航空サービスの旅づくり



これまでも、これからも、いつまでも。  
生涯の心に残る楽しい感動的な旅を。

旅に心の潤いを求めるお客様へ。私たちは1971年の創業以来、お客様の満足を最優先に考え、常に新たな挑戦を続けてきました。これが私たちの歩んできた道であり、これからも変わることはありません。お客様の期待に応えるために、私たちは多様なサービスと独自の旅づくりを続けて参りました。安心で楽しく、そして満足度の高い旅を提供するために、私たちが大切にしている理念と取り組みをホームページや印刷物でご紹介しています。私たちの旅づくりは、これまでも、これからも、いつまでも、お客様の心に寄り添い続けます。

「ワールド航空サービスの旅づくり」は印刷物でもご用意しています。ツアーもパンフレットとともにご請求ください。なおホームページからもご覧いただけます。私どもの「こだわり」をぜひご覧ください。



## ワールド航空サービスの「サステイナブルな旅づくり」にご協力ください

これまで海外旅行にご参加いただいたお客様に、資料発送時にお送りしていましたA4サイズのプラスチック製ファイルや、スーツケースのタグを環境配慮への取り組みとして、これまでのプラスチック製から素材を見直しました。環境負荷を低減する植物由来樹脂を一部配合したフィルムを使用。破れにくく、水をはじく素材です。印刷はベジタブルインクを使用。小型化し、2つ折りでのしおり等の持ち運びにもぴったりのサイズにしました。



様々なサステイナブルな旅づくりへの取り組みを行っています  
詳しい内容は  
ホームページをご覧ください。



●この画面は、旅行業法第12条の4による取引条件説明書及び旅行契約が締結された場合は同法第12条の5により交付する契約書面の一部となります。お申込に際しては別途交付する旅行条件書(全文)をご確認の上、お申込みください。

### ご旅行のご案内とご注意・条件(抜粋)

●旅行契約の成立  
旅行契約は、当社が旅行契約の締結を承諾し、申込金を受理した時に成立します。

●旅行代金のお支払い  
旅行代金は、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって21日目に当たる日より前にお支払いいただきます。

●お支払い対象旅行代金  
「お支払い対象旅行代金」とは、「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行代金に含まれるもの  
(1) パンフレット等、当社ホームページの旅行日程に明示した次に掲げるものが含まれます。

- ① 運送機関の運賃・料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り、航空機の場合はエコノミークラス、鉄道は普通車を利用します。)
- ② 送迎バス料金、都市間の移動に係るバス料金、観光に伴うバス料金
- ③ 宿泊機関の宿泊料金及び税・サービス料金(パンフレット等に特に別途の記載がない限り1部屋に2名で宿泊した場合を基準にします。)
- ④ 食事の料金(機内食は除く。)\*及び税・サービス料金
- ⑤ 添乗員等(企画旅行に同行して旅程管理業務を行う者等)が同行するコースにおける添乗員等の旅行費用
- ⑥ 観光に伴うガイド料金、観光施設の入場料等
- ⑦ 航空会社等が定める個数・重量の無料手荷物許容量の範囲内の受託手荷物運送料金
- ⑧ 団体行動時の必要な心付け
- ⑨ 旅行日程中の海外の空港税、同通関税、同空港利用料
- ⑩ その他パンフレット等において、旅行代金に含まれる旨を表示したもののほか

(2) 前(1)に記載したものは、お客様の都合により一部利用されなくても払戻しの対象外となります。

●旅行代金に含まれないもの  
上記以外は旅行代金に含まれません。その一部を例示します。

- (1) 超過手荷物料金(特定の重量・容量・個数を超える分について)
- (2) 個人的性質の諸費用及びそれに伴う税・サービス料金
- (3) 渡航手続関係諸費用(旅券印紙代・査証料・予防接種料金・渡航手続代行料金)
- (4) お1人部屋を使用される場合の「1室1名利用追加料金」
- (5) 日本国内の空港施設使用料、国際観光旅客税
- (6) 港湾利用料、政府関連諸税等
- (7) 燃油サーチャージ(旅行契約成立後に増額された場合は、増額分の差額は徴収し、また、減額・廃止された場合は、減額分は、払戻しをいたします。)

●お部屋について  
(1) 部屋割りには、原則としてホテル又は船会社が予め決めております。また、ホテルや船室では部屋により調度品や広さが異なる場合があります。当社ではバスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各

地域の特性や施設の事情によりシャワーのみとなる場合があります。  
(2) 可能な限り2人用の客室にはシングルベッドが2台の「ツインベッドルーム」をご用意いたしますが、ホテルによっては、「ダブルベッドルーム」に2台目のベッドとして簡易ベッドを入れてご利用いただく場合もございます。また、ご夫婦でご参加の際は、「1ベッドタイプ」で大型ベッド1台のみのご利用となる場合があります。(なお、「ツインベッドルーム」には2つのベッドマットが1つの枠の中に入っている「ジャーマンツイン」は、客室、2つのベッドのサイズや種類が若干異なる客室も含まれます。)

※ホテルの★の数の記載に関して  
弊社では、これまで各国の正式な評価基準に基づき、利用ホテルの★の数を記載してまいりました。しかしながら、昨今は欧米の大手ホテルチェーンであっても未登録のホテルが増えていること、★の数が必要もホテルの品質を担保するものではない現状を鑑み、ホテルの★の掲載を取り止めております。なお、これまで通りツアー内容やコンセプトに合わせて可能な限り快適なホテル選定を心がけております。

●クルーズ旅行における寄港地上陸観光  
船のスケジュール及び上陸観光地は乗客の安全を最優先と考え、天候やその他現地事情により、船長の判断によって予告なしに変更されることがあり、その権限は船長が持っています。また、その変更による払戻しはございません。

●航空機について  
座席配列により、グループ・カップルの方でも隣り合わせにならない場合があります。なお、窓側・通路側のご希望は、すべてのご希望をかなえることは不可能ですので、ご容赦ください。

●時間帯の目安について  
当社は、原則として時刻を記載した日程表を交付しておりますが、地域により時刻を記載できない一部の日程表については、下記の時間帯で表記します。

04:00	08:00	12:00	16:00	18:00	22:00
朝	午前	午後	夕刻	夜	深夜

●日程表中のマークについて  
■観光について：●=入場観光 ○=下車観光 □=ユネスコ世界遺産

■お食事：■=朝食 ■=昼食 □=夕食 ○=機内食 □=食事なし◎=軽食(通常よりもお体にやさしい軽めの食事です)

■乗り物：●=航空機 ○=バス □=列車 △=自動車 ☆=船 ☆=ロープウェイ

●本パンフレットの掲載写真と地図について  
パンフレットには、よりお客様に訪問地のイメージを掴んでいただけたらよう、ツアーに即した写真を掲載するように努めておりますが、必ずしも同じ角度や高度で撮影いただけるという保証ではございません。また、掲載しております地図は、おおよその位置関係と宿泊地、訪問地を示し、イメージを掴んでいただくためのものです。

●旅行契約の解除・払戻しについて  
旅行契約が成立した後(以下)の区分により定められた取消料をお支払いいただくことにより、お客様は旅行契約を解除することができます。

旅行契約の区分	適用する取消料
日本出国時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約及び海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約(貸切り航空機を利用するコースを除きます。)	<表1>
日本出国時又は帰国時に貸切り航空機を利用する募集型企画旅行契約	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
旅程中に3泊以上のクルーズ日程を含む旅行でパンフレット等に別途明示があるもの	当該パンフレット等に別途明示する取消料によります。
日本発着時共に船舶を利用する募集型企画旅行契約	当該船舶に係る取消料の規定によります。

<表1> 日本発着時又は帰国時に航空機を利用する募集型企画旅行契約並びに海外を出发地及び到着地とする募集型企画旅行契約

旅行契約の解除期日	取消料
旅行開始日がピーク時の旅行である場合であって、旅行開始日の前日から起算してさかのぼって40日目に当たる日以降31日目に当たる日までで解除するとき	¥30,000 お支払い対象旅行代金が30万円未満のときは10%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって30日目に当たる日以降21日目に当たる日までで解除するとき	¥50,000 お支払い対象旅行代金が25万円未満のときは20%
旅行開始日の前日から起算してさかのぼって20日目に当たる日以降3日目に当たる日までで解除するとき	お支払い対象旅行代金の20%
旅行開始日の前々日に当たる日から当日(旅行開始前)までに解除するとき	お支払い対象旅行代金の50%
旅行開始後に解除するとき又は無連絡不参加のとき	お支払い対象旅行代金の100%

(注1) 旅行契約解除の申出は、当社の営業日の営業時間内をお願いします。当社の営業日の営業時間、連絡先(電話番号等)及び連絡方法は、お客様自身でも申込時に必ずご確認ください。

(注2) 「ピーク時」とは、12月20日から1月7日まで、4月27日から5月6日まで及び7月20日から8月31日までをいいます。

(注3) <表1>の「お支払い対象旅行代金」とは募集広告又はパンフレット等に「旅行代金として表示した金額」と「追加代金として表示した金額」の合計額をいいます。

●旅行条件・旅行代金の基準  
ご旅行条件につきましては、このパンフレットに記載しました契約内容・条件の他、旅行条件書(全文)、確定書面(最終旅行日程表)及び当社の旅行業約款によります。ご旅行条件は、2024年11月1日現在の運賃・料金を基準としております。

旅行企画・実施 **ワールド航空サービス**

□ 東京支店 TEL: 03-3501-4111 東京都千代田区有楽町1-5-1 日比谷マリンビル 4階 〒100-0006 総合旅行業務取扱管理者 松崎 浩

□ 大阪支店 TEL: 06-6343-0111 大阪市北区梅田1-1-3 大阪駅前第3ビル29階 〒530-0001 総合旅行業務取扱管理者 信濃 貴宣

□ 名古屋支店 TEL: 052-252-2110 名古屋市中区栄3-14-7 RICC O米8階 〒460-0008 総合旅行業務取扱管理者 柴崎 範明

□ 九州支店 TEL: 092-473-0111 福岡市博多区博多駅東2-5-28 博多信成ビル2階 〒812-0013 総合旅行業務取扱管理者 木村 咲子

□ 札幌支店 TEL: 011-232-9111 札幌市中央区北1条西2-1 時計台ビル 5階 〒060-0001 総合旅行業務取扱管理者 真島 智

□ 藤沢支店 TEL: 0466-27-0111 神奈川県藤沢市藤沢484-1 藤沢アソシアビル 3階 〒251-0052 総合旅行業務取扱管理者 近 博之

※総合旅行業務取扱管理者とは、お客様の旅行を取り扱う営業所での取引に関する責任者です。この旅行に関し、担当者からの説明にご不明な点があれば、ご遠慮なく上記の旅行業務取扱管理者におたずねください。(株)ワールド航空サービス観光局長官登録旅行業201号

心に残る高品質な旅  
**WORLD**  
中南米の旅  
東京発 2025.5月▶10月出発

世界屈指の大自然と古代遺跡。遥かなる南米への旅。

- ① 高所順応に配慮  
イグアス大瀑布とペルー周遊、チチカカ湖の旅
- ② 世界遺産クスコでは酸素供給ホテルをご用意  
ナスカの地上絵とマチュピチュ遺跡の旅
- ③ 鮮やかに彩られるメキシコ有数の伝統祭へ  
死者の日 紅黄色に輝くオアハカ滞在とメキシコシティの旅

マチュピチュ遺跡(イメージ)

# 高所順応に配慮 イグアス大瀑布とペルー周遊 チチカカ湖の旅 15日間



葦を重ねた浮島に人々が暮らすチチカカ湖。6年ぶりに弊社の旅に登場です（イメージ）

## ここに注目。旅のポイント

### イグアス大瀑布を ブラジル側・アルゼンチン側双方から満喫

ブラジルとアルゼンチンにまたがるイグアスの滝。滝幅は4000メートル、世界三大瀑布のなかで落差こそピクトリアの滝に劣るものの、その水量、スケールともに他の2つを圧倒します。大小無数の滝がカーテンのように連なり、水煙を立てて流れゆく美景や、最大落差80メートルを誇る「悪魔の喉笛」の吸い込まれるかのような迫力は他にはないもの。このイグアスの滝を連泊で、ブラジル、アルゼンチンの双方からご案内します。ブラジル側からは、イグアスの滝を見上げるように遊歩道を歩き、アルゼンチン側では、滝壺「悪魔の喉笛」の迫力ある絶景を間近に迫ります。



ブラジル側では滝を見上げながらの遊歩道散策が楽しめます（イメージ）



アルゼンチン側からは、「悪魔の喉笛」の絶景に迫ります（イメージ）

### マチュピチュ村に2連泊、2回入場

午前中にマチュピチュ遺跡の観光をし、昼食を挟んで午後、再度遺跡を訪問し終日お楽しみいただきます。

マチュピチュ遺跡イメージ）



## ツアープランナーより

謎に包まれた空中都市マチュピチュやカミノリの刃すら通さない緻密な石組みで街を築いたインカ、航空機の無い時代に上空からしか認識できない地上絵が描かれたナスカなど、南米には謎多き古代文明や遺跡が残ります。また6000m級の山々が大陸を縦断するアンデス山脈やイグアスの滝に代表される大自然も訪れる者を魅了してやみません。広大な南米大陸の主要なみどころを一度に巡るだけでなく、連泊を主体とし、加えてクスコでは酸素供給システムのあるホテルをご用意するなど高所順応に配慮した旅としました。さらに、このたびは政情が落ち着き、弊社としては6年ぶりに皆様を天空の湖チチカカ湖にご案内できる運びとなりました。南米の絶景を効率よく巡る旅にご期待ください。

## 高所順応に配慮した行程でご案内

この旅ではペルーが誇る4つの世界遺産（リマの歴史地区、ナスカの地上絵、マチュピチュ遺跡、クスコ旧市街）を訪れますが、一方で心配なのが高山病です。弊社ではイグアス大瀑布を訪ねてから、まずは標高の低いリマで3連泊。その後、標高2000メートル台のマチュピチュ村での2泊で身体を高所に慣らしてから、クスコ（標高3400メートル）やチチカカ湖（標高3800メートル）へ。お身体への負担

を極力少なくする行程としています。またクスコでは客室に常時酸素が供給されるホテルをご用意しています。



酸素供給設備があるクスコの客室（イメージ）

## インカ王降臨伝説の舞台 神秘の湖 チチカカ湖へ

標高3800メートル、アンデス山中のペルーとボリビアの国境にまたがるチチカカ湖は、世界中で20カ所ほどしか確認されていない古代湖のひとつ。インカ初代の王が舞い降りたと

される聖なる地です。歴史ロマンもさることながら、特筆すべきは今でも昔ながらの生活を営む人々の姿があること。この地に住む先住民は葦を重ねた浮島に暮らします。



トラと呼ばれる葦で作った浮島「ウロス島」に暮らす人々（イメージ）



浮島の集落で今も暮らす人々（イメージ）

## 「聖なる谷」に残るインカの遺構へ

マチュピチュとクスコの間に「聖なる谷」と呼ばれる一帯が広がり、多くのインカの遺構が残されています。ミステリーサークルのような遺跡モライ、そして先住民が暮らすミスミナイ村へ立ち寄りませ



モライ遺跡（イメージ）

## 新しい地上絵の発見が続くナスカでは遊覧フライトを満喫

リマから南へ約400キロメートルのナスカ地域はアンデス山脈と太平洋との間の地面に「ナスカの地上絵」と呼ばれる幾何学的な動植物の絵が石や砂利を用いて描かれています。近年、日本の山形大学の研究チームによって別の場所からも地上絵が発見され、注目を集めています。



ナスカの地上絵を上空から楽しむ遊覧飛行（イメージ）

### ご宿泊ホテル

- サンパウロ：ブルー・ツリー・プレミアム・パウリスタ
- フォスドイグアス：ヴィヴァス・カタラタス
- リマ：ブルマン・リマ・サン・インシドロ  
新市街サン・インシドロ地区に位置するアメリカンタイプのホテルです。
- マチュピチュ村：エル・マビ・バイ・インカテラ
- クスコ：アランワ・クスコ・プティック・ホテル  
「酸素供給ホテル」にご宿泊いただけます。客室に絶えず酸素が供給され、高山病になりやすい睡眠中も安心してお休みいただけます。夜景が美しいアルマス広場まで徒歩5分の好立地です。
- プーノ：カサ・アンディーナ・プレミアム・プーノ

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

利用予定航空会社：エアロメヒコ航空、エミレーツ航空、日本航空、ラタム航空、アメリカン航空カタル航空、ターキッシュエアラインズ、エールフランスグループ、イベリア航空、ユナイテッド航空  
ツアーコード：AS023T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田または羽田空港集合・15日間】 5月23日(金)、9月12日(金)	エコノミークラス利用 ¥1,235,000	ビジネスクラス利用 お問合せください
(お一人でご参加のお客は、1名室利用追加代金¥130,000にて承ります)		
燃油サーチャージ別途目安：¥38,000/11月1日現在		
地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	旅行条件がご不明な点や 変更が必要の場合はお問い合わせください。

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港09:35発 → メキシコシティ07:05着 メキシコシティ18:45発 →	午前、成田空港より、航空機にてメキシコシティへ。 着後、バスにてメキシコシティの観光(○ソカロ、○カテドラル)および昼食へご案内します。 夜、航空機にてサンパウロへ。	(機中泊) □ 国機
2	サンパウロ07:20着	着後、サンパウロ市内観光へ。20世紀初頭のネオクラシック様式の建築が特徴的なルス駅やカテドラル、リベルダージ地区の東洋人街などを訪れます。 午後、ホテルにチェックイン。長旅のお疲れをお取りください。	(サンパウロ泊) 機屋夕
3	サンパウロ08:20発 → フォスドイグアス10:05着	航空機にてフォスドイグアスへ。(注1) 着後、バスにてアルゼンチン側の「世界遺産イグアスの滝の観光」へ。悪魔の喉笛にご案内します。 昼食後、三国国境地点へ立ち寄りホテルへ。	【2連泊】(フォスドイグアス泊) 国屋夕
4	フォスドイグアス	午前、ブラジル側の「世界遺産イグアスの滝の観光」へ。 午後、自由行動。ご希望の方はポートツアー（実費）へご案内します。	(フォスドイグアス泊) 朝屋夕
5	フォスドイグアス14:55発 → サンパウロ16:40着 サンパウロ19:30発 → リマ23:00着	午前、自由行動。 午後、航空機にてサンパウロにて乗り換え、ペルーの首都リマへ。(注1) 着後、バスにてホテルへ。	【3連泊】(リマ泊) 朝国 □
6	リマ (歴史地区)	午前、ホテルをゆっくり出発。リマの市内観光をお楽しみください。プレインカ時代の土器コレクションに定評のある●ラファエル・ラルコ・エレラ博物館を見学します。 午後、「世界遺産リマの歴史地区、○アルマス広場、フランシスコ・ピサロの眠る○カテドラルなど」へご案内します。(リマ泊) 朝屋夕	
7	リマ05:00発 → ピスコの地上絵遊覧飛行 リマ19:00着	早朝、専用バスにてピスコへ(片道約4時間)。 着後、「世界遺産ナスカの地上絵の遊覧飛行」へご案内します。その後、リマへ戻ります。	(リマ泊) 国屋夕
8	リマ08:40発 → クスコ10:00着 → オリャンタイタンポ15:37発 → マチュピチュ17:02着	午前、航空機にてクスコへ。(注1) 着後、標高を下げながら、聖なる谷の観光。ミステリーサークルのような○モライ遺跡を見学します。 午後、オリャンタイタンポ駅よりペルーレイル(鉄道)にて標高約2,000mのマチュピチュへ。(注2)	【2連泊】(マチュピチュ村泊) 国屋夕
9	マチュピチュ (世界遺産 マチュピチュ遺跡)	終日、「世界遺産●マチュピチュ遺跡の観光」。 昼食は遺跡入口に建つホテル「サンクチュアリ・ロッジ」にて。 午後もし引き続き、マチュピチュ遺跡の観光をお楽しみください。遺跡へ行かない方は、村やホテルに戻ることもできます。	(マチュピチュ村泊) 朝屋夕
10	マチュピチュ08:53発 → オリャンタイタンポ10:52着 → ミスミナイ村 → クスコ15:00着	午前、ペルーレイル(鉄道)にてオリャンタイタンポへ。 着後、聖なる谷の先住民が暮らす○ミスミナイ村を訪ね、伝統的な生活様式を見学。昼食は先住民ランチをご用意しました。 午後、バスにてクスコへ。途中、●サクサワマン遺跡に立ち寄り。クスコ着後、●太陽の神殿(コリカンチャ)、旧市街の○アルマス広場、○大聖堂、○12角の石など「世界遺産クスコの観光」へご案内します。 宿泊は、酸素供給ホテルをご用意しました。(クスコ泊) 朝屋夕	
11	クスコ08:00発 → プーノ18:00着	午前、バスにてプーノへ。アンデス山脈を車窓にアルティプレーノ(高地に広がる大平原)を進みます。途中、標高4,335mのウラヤ峠を越えます。夕刻、プーノ着。	(プーノ泊) 国屋夕
12	プーノ ⇄ チチカカ湖 フリアカ13:40発 → リマ15:15着	午前、チチカカ湖に浮かぶ葦でできたウロス島にポート(混載)でご案内します。その後、バスにてフリアカへ。 午後、航空機にてリマへ。(注1)	(機中泊) 国国国
13	リマ00:15発 → メキシコシティ05:25着	航空機を乗り換え、メキシコシティへ。 着後、空港ホテルにて休憩。	(ホテル休憩) □ □ 夕
14	メキシコシティ00:35発 →	深夜、航空機にて帰国の途へ。	(日付変更線を通過：機中泊) □ □ 機
15	成田空港06:20着	朝、成田空港に到着後、解散。	機 □ □

※日程表の時刻は、成田空港発着のエアロメヒコ航空の利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。  
(注1) 南米内のフライトスケジュールは変更となる場合があります。  
(注2) マチュピチュへはスーツケースを持って行けないため、クスコのホテルに預けます。マチュピチュへの2泊3日分の手荷物をご注意ください。また、ペルーレイルの発着時刻は変更となる場合があります。

ご旅行条件とご注意

- 最少催行人員：10名様
- 食事：朝食10回、昼食12回、夕食11回
- 添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。
- バスポート必要残存有効期間：ペルー入国時6ヵ月以上
- バスポート査証未使用欄：入国時5ページ以上

【当ツアーお申込みについてのご注意】

- 標高3000メートルを超える高地の旅となりますので、お申し込み時に「健康アンケート」ご提出を参加条件とさせていただきます。場合によって医師の診断書の提出をお願いいたします。予めご了承ください。また、ご旅行中のお客様においては、医師の診断・治療を必要とした場合、必要な措置を取ることがあります。場合によっては行程途中での旅行中止、あるいはご帰国いただくこともございます。その際は当社添乗員の指示に従ってください。
- 高地滞在中のご注意：高山病に加え、飲酒、喫煙、急激な運動をお控えください。高地の旅は不安がつきものです。今回のご旅行では、添乗員がバラスオキシメーター（携帯用の血中酸素飽和度測定器）を持参し、高度順応の状態を把握するよう努めてさせていただきます。
- 海外旅行保険加入をお願いします。：万一、重度の高山病にかかれた際に、近くの病院で治療ができない場合は車やヘリコプター、セナ機等をチャーターするなど搬送や治療に多額の費用がかかる可能性があります。「治療・救済者費用」に対応した海外旅行保険に必ずご加入ください。

# 世界遺産クスコでは酸素供給ホテルをご用意 ナスカの地上絵と マチュピチュ遺跡の旅 9日間



マチュピチュ遺跡 (イメージ)

## ここに注目。旅のポイント

### 新しい地上絵の発見が続くナスカでは遊覧フライトを

アンデス山脈と太平洋との間の地面に「ナスカの地上絵」と呼ばれる幾何学的な動植物の絵が石や砂利を用いて描かれています。上空から見たことが出来なかった時代に、何のため



上空から様々な地上絵をご覧いただけます(イメージ)



### マチュピチュ村での連泊 マチュピチュ遺跡は午前、午後と2回入場

一度は訪れてみたい世界遺産マチュピチュ遺跡。日帰り観光のツアーも多い中、麓のマチュピチュ村に連泊して遺跡へご案内します。数年前に時間指定入場制が導入されたことで、これまでのような混雑した状態での観光ではなく、適正な入場者数

の中巡れるようになりました。午前中にマチュピチュ遺跡の観光をし、昼食を挟んで午後、再度遺跡を訪問。ゆっくりと世界遺産の中をご覧いただけます。連泊滞在だからこそ可能な日程です。

## ツアープランナーより

謎に包まれたマチュピチュ、緻密な石組みで街を築いたインカ、また、航空機の無い時代に上空からしか認識できない地上絵が描かれたナスカなど、ペルーにはいまだ未解明の謎が残っています。しかし、その遠さと高地ゆえに二の足を踏む方も多い為、そのご不安を軽減すべく、高所順応に配慮した連泊主体の行程にしております。マチュピチュ遺跡をじっくりと見学いただくため、麓の村で連泊とし、さらにバスで通り過ぎてしまいがちな聖なる谷にも足を止めて、マラスの塩田やモライ遺跡、さらに未裔の方々が文化を紹介するミスミナイ村など行程に組み込みました。また、通常は高山病への懸念から日帰りで訪れることの多い世界遺産のクスコでは客室に常時酸素が供給されるホテルを確保し、お身体への負担を少なくしながら宿泊する行程としました。夜、ホテル近くの旧市街広場がオレンジ色の灯りでライトアップされ、まるでタイムスリップしたかのような光景をご覧いただけるのは宿泊者だけの特権です。9日間というコンパクトな日程ながら、深くインカ帝国の文化に触れ、見どころをしっかりと訪れる内容としました。

### 世界遺産クスコでの宿泊。南米屈指の夜景を堪能

クスコでの宿泊を避ける傾向にある昨今、当社では世界遺産クスコでの宿泊を入れております。インカ帝国の都がスペインにより塗り替えられたその街並みは、昼だけではなく、夕方からほのかに点る灯り、そして旧市街の夜景の中を歩くことでより印象的なものとなります。懸念される高所対策としては、「酸素供給ホテル」をご用意。睡眠中にも絶えず客室に酸素が供給されます。



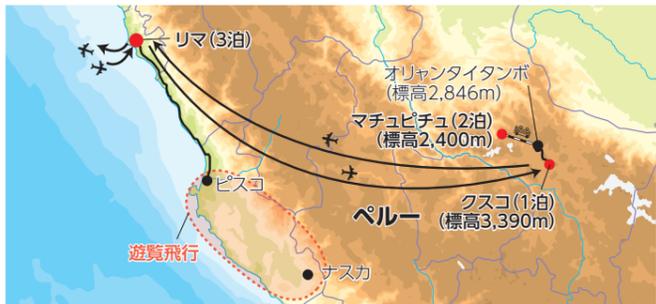
コロニアルスタイルの「アランワ・クスコ・ブティック・ホテル」



客室も設備が整っています(イメージ)



クスコの中心アルマス広場まではホテルから約5分。日中の景色とはまた違う夜景の中を散策します(イメージ)



ペルーレイル(イメージ)

### 「聖なる谷」に残るインカの遺構へ

マチュピチュとクスコの間に「聖なる谷」と呼ばれる一帯が広がり、数多くのインカの遺構が残されています。アンデスの段々畑のような塩田マラス、ミステリーサークルのよう

な遺跡モライ、そして聖なる谷の先住民が暮らすミスミナイ村へ立ち寄ります。単なる移動ではない、聖なる谷の魅力にふれる行程として



ミスミナイ村では伝統的な生活様式を見学します(イメージ)



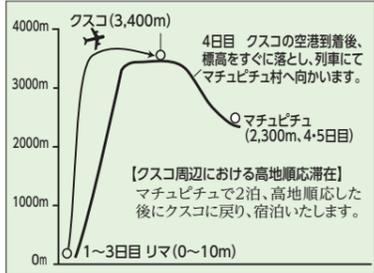
かつての農業試験場であったとされるミステリーサークルのような遺跡モライ(イメージ)



アンデスの段々畑のような塩田マラス(イメージ)

### 高所順応に配慮した行程でご案内

この旅ではペルーが誇る4つの世界遺産(リマの歴史地区、ナスカの地上絵、マチュピチュ遺跡、クスコ旧市街)を訪れますが、一方で心配なのが高山病です。弊社ではまずは標高の低いリマで3連泊(到着後にすぐ高地には上がりません)。



その後、標高2000メートル台のマチュピチュ村での2泊で身体を高所に慣らしてから、クスコ(標高3400メートル)へ。お身体への負担を極力少なくする行程としています。またクスコでは客室に常時酸素が供給されるホテルをご用意しています。

利用予定航空会社：アエロメヒコ航空、アメリカン航空、デルタ航空、ユナイテッド航空、日本航空、ラタム航空、イベリア航空、エールフランスグループ  
ツアーコード：AS019T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田または羽田空港集合・9日間】	エコノミークラス利用	ビジネスクラス利用
5月20日(火)、6月23日(月) 10月2日(木)	¥745,000	お問合せください
8月14日(木)	¥785,000	
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥60,000にて承ります)		
燃油サーチャージ別途目安：¥32,000・11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付特典がごさいますので各支店へお問い合わせください
----------	--	----------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港09:35発 → メキシコシティ07:05着 メキシコシティ09:05発 → リマ16:10着	午前、航空機にてメキシコシティへ。 着後、航空機を乗り換えリマへ。 着後、バスにてホテルへ。	【3連泊】(リマ泊) □機夕
2	リマ	本日はリマの市内観光へ。 午前、プレインカ時代の土器コレクションに定評のある●ラファエル・ラルコ・エセラ博物館を見学します。昼食は館内のカフェレストランにて。 午後、旧市街のアルマス広場、フランシスコ・ピサロの眠る○カテドラルなどへご案内します。 夕食は、プレインカのワカプクヤーナ遺跡に隣接するレストランにて。(リマ泊) 朝昼夕	
3	リマ05:00発 → ピスコ(ナスカの地上絵遊覧飛行) リマ19:00着	早朝、専用バスにてピスコへ(片道約4時間)。 着後、国世界遺産ナスカの地上絵の遊覧飛行へご案内します。その後、リマへ戻ります。(リマ泊) 朝昼夕	
4	リマ08:40発 → クスコ10:00着 → オリャンタイタンボ16:36発 → マチュピチュ18:09着	午前、航空機にてクスコへ。(注1) 着後、標高を下げながら、ミニバスにてインカの聖なる谷を進みます。○マラスの塩田、ミステリーサークルのような○モライ遺跡を見学します。 午後、オリャンタイタンボ駅よりペルーレイル(鉄道)にて標高約2,000mのマチュピチュへ。(注2)	【2連泊】(マチュピチュ村泊) 朝昼夕
5	マチュピチュ(世界遺産) マチュピチュ遺跡)	午前、国世界遺産●マチュピチュ遺跡の観光。 昼食は遺跡入口に建つホテル「サンクチュアリ・ロッジ」にて。 午後、再びマチュピチュ遺跡の観光へ。遺跡へ行かない方は、マチュピチュ村の散策をお楽しみいただけます。(マチュピチュ村泊) 朝昼夕	
6	マチュピチュ08:30発 → オリャンタイタンボ10:10着 → ミスミナイ村 → クスコ15:30着	午前、ペルーレイルにてオリャンタイタンボへ。 着後、聖なる谷の先住民が暮らす○ミスミナイ村へ。伝統的な生活様式を見学。昼食はミスミナイ村にて先住民ランチをご用意しました。 午後、バスにて国世界遺産クスコへ。郊外の●サクサイワマン遺跡や○大聖堂、○12角の石、○サントドミンゴ教会(太陽の神殿)へ。 ご宿泊は酸素供給ホテルです。 夜、ライトアップされた広場の散策をお楽しみください。(クスコ泊) 朝昼夕	
7	クスコ12:30発 → リマ14:00着 リマ17:30発 → メキシコシティ22:40着	午後、国内線にてリマへ。(注1) 着後、航空機を乗り換え、メキシコシティへ。	(機中泊) 朝国機
8	メキシコシティ00:30発 →	深夜、航空機にて帰国の途へ。	(日付変更線を通過：機中泊) □□□
9	成田空港06:20着	朝、成田空港に到着後、解散。	機□□

※日程表の時刻は、成田空港発着のアエロメヒコ航空の利用を想定したものです。他の航空会社を利用の場合には、発着空港および時刻、日程は異なります。  
(注1) 南米内のフライトスケジュールは変更となる場合があります。  
(注2) マチュピチュへはスーツケースを持って行けないため、クスコのホテルに預けます。マチュピチュへの2泊3日分の手荷物をご注意ください。また、ペルーレイルの発着時刻は変更となる場合があります。

#### ご旅行条件とご注意

■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食6回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：成田空港または羽田空港ご出発時から成田空港または羽田空港ご到着時まで同行します。 ■パスポート必要残存有効期間：ペルー入国時5ヶ月以上 ■パスポート査証未使用欄：入国時5ページ以上

#### 【当ツアーお申込みについてのご注意】

■標高3000メートルを超える高地の旅となりますので、お申し込み時に「健康アンケート」ご提出を参加条件とさせていただきます。場合によって医師の診断書の提出をお願いいたします。予めご了承ください。また、ご旅行中のお客様においては、医師の診断・治療を必要とした場合、必要な措置を取ります。場合によっては行程途中での旅行中止、あるいはご帰国いただくこともございます。その際は当社添乗員の指示に従ってください。  
■高地滞在の中のご注意：高山病に加え、飲酒、喫煙、急激な運動をお控えください。高地での旅は不安がつきものです。今回のご旅行では、添乗員がパルスオキシメーター(携帯用の血中酸素飽和度測定器)を持参し、高度順応の状態を把握するよう努めさせていただきます。  
■海外旅行保険加入をお願いします。：万一、重度の高山病にかかれた際に、近くの病院で治療ができない場合は車やヘリコプター、セナ機等をチャーターするなど搬送や治療に多額の費用がかかる可能性があります。「治療・救護者費用」に対応した海外旅行保険に必ずご加入ください。

#### ご宿泊ホテル

- リマ：ノボテル・リマ  
新市街サン・イシドロ地区に位置するアメリカンタイプのホテルです。
- マチュピチュ村：エル・マピ・バイ・インカテラ  
村の散策も楽しめる駅近くのホテルです。
- クスコ：アランワ・クスコ・ブティック・ホテル  
旧市街の中心、アルマス広場まで徒歩5分の酸素供給ホテルをご用意しました。

※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。

# 鮮やかに彩られるメキシコ有数の伝統祭へ 死者の日 紅黄色に輝くオアハカ滞在と メキシコシティの旅 8日間



「死者の日」ガイコツをモチーフに仮装した人々（イメージ）

## ここに注目。旅のポイント

### ユネスコ無形文化遺産「死者の日」の風習を垣間見る

毎年11月1日・2日の2日間にわたって、メキシコ全土で行われる伝統行事「死者の日」。日本のお盆と似た位置づけで、亡くなった家族や祖先の魂がこの時期だけ帰ってくるという先住民の風習と、キリスト教文化が融合したメキシコ特有の祭礼として、ユネスコ無形文化遺産に登録されています。日本のお盆とは少々異なり、明るく楽しく、故人の魂がこの世に戻っている間に家族や仲間との交流

を楽しみます。この旅では、先住民文化が色濃く残り、最もお祭りが賑わいを見せる世界遺産のオアハカ歴史地区に3連泊してご案内します。期間中は、町中の至るところにオフレンダ(祭壇)が設けられ、ガイコツの人形やカラフルな切り紙、鮮やかなマリーゴールドの花で彩られます。昼夜問わず町全体が祝祭空間となる独特な雰囲気をお楽しみください。



花々で飾られたお墓は人々でにぎわいます（イメージ）



「死者の日」の祭りの様子（イメージ）



お供え用の「死者のパン」(イメージ)

## ツアープランナーより

祖先の魂がこの時期に帰ってくるという日本のお盆にも似た風習が遥か太平洋を越えたメキシコに存在しています。これまで遺跡を中心に取り上げることが多かったこの国の魅力を先住民文化が色濃く残るオアハカに3連泊することで、新大陸を征服したキリスト教文化と土着の宗教感の融合を垣間見られる伝統行事を組み込み、よりメキシコの文化に触れる行程といたしました。この国の代名詞でもある遺跡はアステカ文明のテオティワカンとサポテカ族が築いたモンテアルバンと時代の異なる2つの世界遺産の遺跡に絞りました。また、スペイン人が新大陸に上陸後、築き上げた16～17世紀の街並みとそのままだら残された古都プエブラやオアハカの旧市街に残る雰囲気はスペイン本国以上に当時の趣が残り、メキシコ近代建築の父と称されるルイス・バラガン邸内での食事や現代絵画を代表するフリーダ・カーロの邸宅（現在は博物館）など、遺跡めぐりの旅とは一線を画し、より多角的にメキシコの魅力と文化に踏み込んだプログラムにてご案内いたします。皆様にご賛同いただければ幸いです。

### 先住民文化の宝庫とコロニアル建築の融合オアハカ

近年、日本のテレビ番組や雑誌でも取り上げられることが多いオアハカは、先住の文化が色濃く、民俗色に溢れ、これらと植民地時代の洒落た街並み、そして凝った近代デザインとの融合が人気の秘密です。市内に高いビルは見られず、のんびりとした雰囲気が漂いますが、一方で外観からは想像もつかないほどに金で埋

め尽くされたバロックのサント・ドミンゴ教会も面白いところです。オアハカは、芸術家が多く暮らすアートの町でもありますので、ギャラリーを覗いたり、店や市場を訪ねて、先住民たちが作った民芸品や銀製品を手にとったりするのも楽しいひとときとなることでしょう。



世界遺産オアハカ歴史地区



サント・ドミンゴ教会内部



モンテアルバン遺跡も訪ねます

## 古都プエブラ 世界遺産の歴史地区

アステカの上に造られたいわゆる「征服都市」ではなく、当時の綿密な都市計画に基づいてスペイン人の入植者によって造られた植民都市であるプエブラ。そのため、他の町よりもよ

りスペイン色が色濃く残る町並みです。有名なタラベラ焼きで彩られたアーチやファサードが印象的で、歴史地区は世界遺産に登録され、散策が楽しいところです。



サント・ドミンゴ教会 メキシコバロックの最高傑作と云われるロザリオ礼拝堂(イメージ)



プエブラでも町の至るところで祭壇が設けられています(昨年同行の添乗員撮影)



カラフルなプエブラの町(イメージ)



有名なタラベラ焼(イメージ)

### 無形文化遺産のメキシコ料理、 こだわりのレストランでお楽しみください

メキシコ土着の伝統と16世紀以降にスペイン人達もたらした文化が融合し、独自の食文化が確立されたメキシコ料理は、和食と同様にユネスコ無形文化遺産に登録されました。このたびは本場のメキシコ料理を存分にお楽しみいただくため、こだわりのレストランでの

お食事をご用意しました。メキシコ人建築家・ルイス・バラガンが設計したパドレガル邸内のレストラン「テトラン」やメキシコシティ旧市街のソカロを見渡す展望レストラン「ラ・テラサ」でのお食事をお楽しみいただけます。



パドレガル邸内のレストラン「テトラン」



メキシコシティのソカロを見渡す展望レストラン(イメージ)



利用予定航空会社：アエロメヒコ航空 ツアーコード：AM033T

集合・日数・出発日	旅行代金	
【成田空港集合・8日間】 10月30日(木)	エコノミークラス利用 <b>¥698,000</b>	ビジネスクラス利用 お問合せください
(お1人でご参加のお客様は、1名室利用追加代金¥80,000にて承ります)		
ビジネスクラス利用区間：成田空港～メキシコシティ間往復		
燃油サーチャージ別途目安：¥28,000；11月1日現在		

地方発着追加代金	大阪・名古屋～東京 片道 …… ¥5,000 福岡・札幌～東京 片道 …… ¥10,000	包付条件がございますので 各支店へお問い合わせください。
----------	--	---------------------------------

日	訪問地	スケジュール	宿泊地・食事
1	成田空港11:50発→メキシコシティ09:10着 テオティワカン遺跡 プエブラ 17:00着	午前、成田空港より航空機にてメキシコシティへ。着後、バスにて世界遺産●テオティワカン遺跡を見学します。その後、プエブラへ。	(プエブラ泊) 機内夕
2	プエブラ13:00発→オアハカ 19:00着	午前、世界遺産プエブラ歴史地区の徒歩観光へ。○サント・ドミンゴ教会、○カテドラルへご案内します。午後、バスにてオアハカへ。	【3連泊】(オアハカ泊) 朝昼夕
3	オアハカ(歴史地区、死者の祭り・民家訪問)	午前、世界遺産オアハカ歴史地区の徒歩観光へ。○アバスト市場、○サント・ドミンゴ教会へご案内します。 <b>【死者の祭りプログラム①】</b> 午後、民家訪問をお楽しみください。死者の日を迎え、カラフルな飾り付けが行われています。	(オアハカ泊) 朝昼夕
4	オアハカ(モンテアルバン遺跡、死者の祭り)	午前、サポテカ族が造った世界遺産●モンテアルバン遺跡の見学へ。その後、樹齢2000年以上とも言われる○トゥーレの巨木をご覧ください。 <b>【死者の祭りプログラム②】</b> 夜、幻想的に飾られたお墓をご覧ください。	(オアハカ泊) 朝昼夕
5	オアハカ08:45発→メキシコシティ09:55着 (歴史地区)	朝、航空機にてメキシコシティへ。(注)着後、世界遺産メキシコシティ歴史地区を観光します。○ソカロ、○カテドラル、○テンプロ・マヨール、●ヴァスコ・ヌニェス・デ・ビジャレガルの図書館へご案内します。	(メキシコシティ泊) 朝昼夕
6	メキシコシティ 23:50発→	午前、●国立人類学博物館を見学します。 昼食はルイス・バラガンが手掛けたパドレガル邸内のレストラン「テトラン」にて。 午後、●フリーダ・カーロ博物館を見学します。 夕食はソカロ広場を見渡すレストラン「ラ・テラサ」にて。 深夜、航空機にて帰国の途へ。	(機中泊) 朝昼夕
7		(日付変更線を通り)	□□□
8	成田空港06:20着	朝、成田空港に到着後、解散。	機□□

(注)メキシコの国内線の発着時刻は変更となる場合があります。航空機のスケジュールによっては、観光を別の日にご案内したり、メキシコシティまでバスで移動となる場合がありますので、予めご了承ください。

ご旅行条件とご注意  
 ■最少催行人員：10名様 ■食事：朝食5回、昼食6回、夕食6回 ■添乗員：成田空港ご出発時から成田空港ご到着時まで同行します。 ■バスポート：必要残存有効期間：帰国時まで有効なもの ■バスポート：査証未使用欄：1ページ以上必要

ご宿泊ホテル  
 ■プエブラ：NHプエブラ・セントロ・イストリコ  
 プエブラ歴史地区の中心部に位置する観光に便利な立地の良いホテルです。  
 ■オアハカ：ホリデイ・イン・エクスプレス・オアハカ・セントロ・イストリコ  
 サント・ドミンゴ教会へ徒歩圏内に位置するホテルです。  
 ■メキシコシティ：ヒルトン・メキシコシティ・レフォルマ  
 ※いずれの都市のホテルもシャワーのみの客室となります。  
 ※バスタブ付き客室をご用意するよう努めておりますが、各地域の特性や施設の事情及び昨今の世界的な「シャワーのみの客室」増加により、シャワーのみとなる場合がございます。